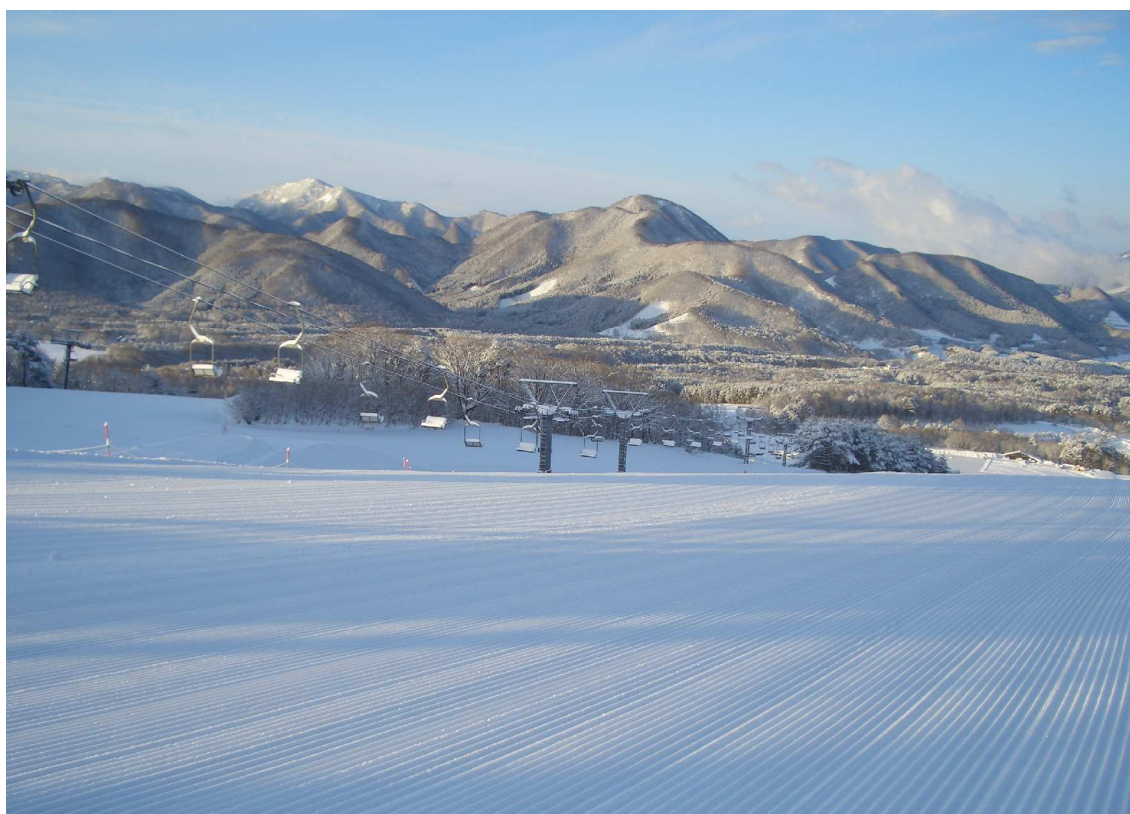


索道安全報告書

沼尻スキー場

1. 沼尻 第1ペアリフト
2. 沼尻 第2リフト
3. 沼尻 第5リフト
4. 沼尻 第6リフト
5. 沼尻 第7リフト
6. 一本松 クワッドリフト

2007 / 2008



早朝営業前の第2リフト（ポプラコース上部から）

沼尻観光株式会社

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

沼尻観光株式会社（沼尻スキー場）

社長 辻田 昌徳

2. 基本方針と安全目標

【1】基本方針

当社の経営理念の第一は、安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知、徹底しております。

- (1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及びそれに関する規定(本規定含む)をよく理解するとともにこれを厳守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

【2】安全目標

索道運転事故ゼロを目標とします。

引き続き従業員一致団結し、目標に向けて安全輸送に取り組む所存です。

3. 事故の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道事故（索道人身障害事故）
運転事故は有りません。
- (2) 災害（地震・風害・豪雪など）
平成19年度 災害による運行停止はありません。
シーズン中、風の状況により一部のリフトが停止しました。
- (3) インシデント（事故の兆候）
発生はありません。

- (4) 行政指導等
ありません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、シーズン営業開始前に施設及び取扱いについての安全教育を実施しています。

(2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に、従業員一同にて安全に対する講義と救助訓練を実施しています。



【室内での救助用具の説明】



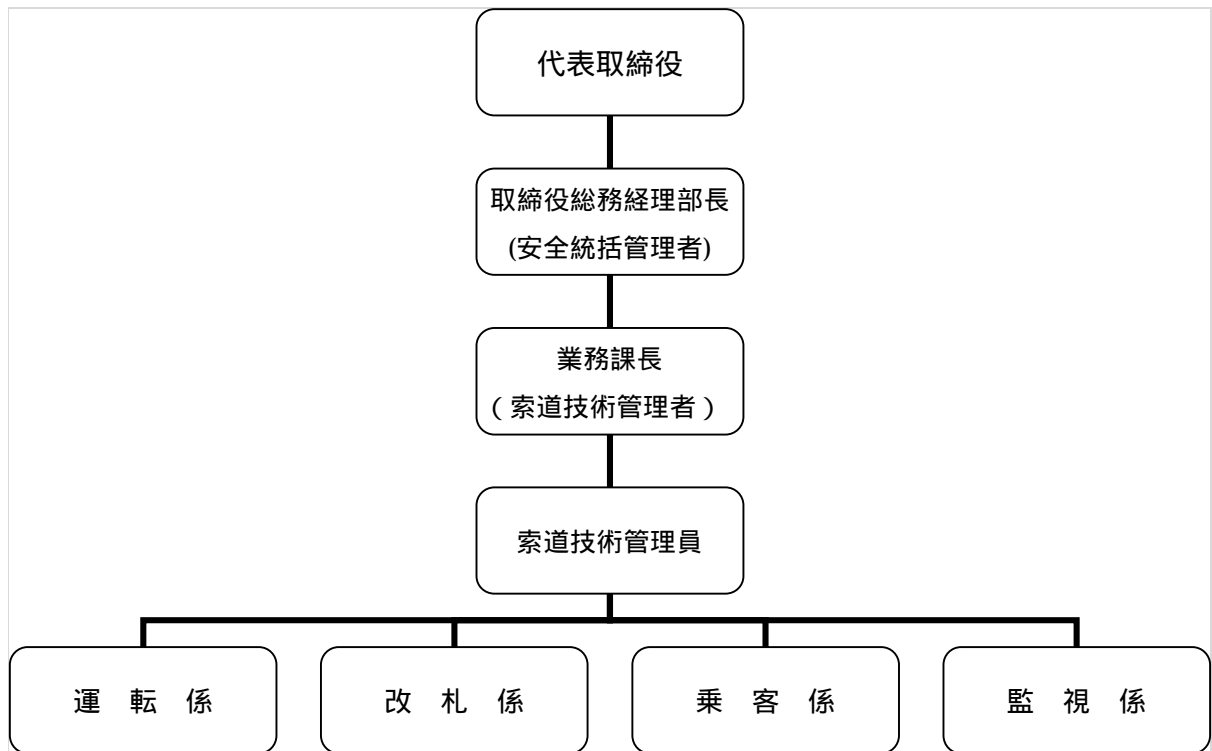
【救助訓練実施状況】

(3) 安全のための投資と支出

平成19年度は、第6リフトの索条の老朽更新・第5リフトのモーターO/H・第6・第2リフトの緊張ユニット交換・第1リフト支柱の塗装工事を実施しました。

5. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



代表取締役	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
取締役総務経理部長 (安全統括管理者)	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
業務課長 (索道技術管理者)	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

6. 利用者の皆様の連帯とお願い

(1) お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。

お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止めより信頼され安全サービスが提供できるよう役立てます。

(2) リフト乗車時の注意事項

乗り方に慣れないお客様は、係員にそのことを申し出て下さい。

空き缶・タバコの吸殻・その他の物品を、乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。

搬器から飛び降りたり、搬器を揺らないで下さい。

衣服・携帯品・髪の毛などが、施設に巻き付かないよう注意して下さい。

改札後は係員の指示に従って下さい。

7. 連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒969-2752

福島県耶麻郡猪苗代町大字蚕養字沼尻山甲 2855-38

沼尻スキー場（沼尻観光株式会社）

0242-67-1250

Fax0242-64-247

E-mail : <http://www.bonari.co.jp/>